

## 西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
西区ふれあいまつり		西区ふれあいまつり実行委員会			
事業目的	事業内容	活動指標	H30	R1	R4
西区内に住む人々や区内で働く人々などがこのまつりを通じて、相互の心のふれあいと連帯感を持つことにより、区民としての意識の高揚を図り、良好な地域社会づくりに寄与する意識を高めることを目的とする。	西区14校区による模擬店のほか、こども向けのコーナーや各校区の地域活動紹介コーナーなどがあり、ウェスティホールでは区内学校園等による出演やキャラクターショーなどを実施した。	①来場者数	30,000人	33,000人	16,630人
		②アンケートでの満足度測定(「よかった」以上の割合)	78.5%	76.3%	85.0%
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 西区14校区の住民がふれあう交流の場、また日頃の活動の成果発表の場として大きな役割を担っており、今後も継続して実施する妥当性が高い事業である。	◎ 模擬店のほか、こども向けのコーナーや各校区の地域活動紹介コーナーなど、各催しの企画から事業実施まで、自治会を中心に多くの区民が参画し、区民主体で実施している。行政は事務局としてサポートし、区民と行政が協働で実施している。	○ 今年度初めて実施したキャラクターショーは席数の2倍以上の事前応募があるなど、大いに盛り上がった。14校区による校区模擬店やこども向けのコーナーについても、非常に好評で、まつりの終了時間まで会場内は大いに盛況を呈した。	○	企画段階から事業実施まで、多くの区民と協働で事業を実施しており、行政の介入は予算、要員等で必要最小限に抑えている。また、区民のアイデアや地域のマンパワーを活用し、区民相互の交流が活発に行われていることから、費用対効果の高い事業である。	
⑤自立発展性	総合評価				
△ 費用の一部を区内の自治会からの協賛で運営しているが、予算や会場の確保などは行政が担う必要があり、事業の全てを区民が自立して取り組むことは困難である。今後も区民と行政が協働で実施していくことが望ましい。	◎ 今年度は「西区こどもまつり」としてこども向けの内容で開催したこともあり、たくさんのお子様やその家族が来場し、楽しまれた。イベント全体の感想を問う来場者アンケートでは、85%の来場者に「よかった」と回答していただき、満足度は前回から大幅に上昇した。企画段階から区民が積極的に参画しており、本事業を通して、区民が相互にふれあい、区民としての意識の高揚を図り、世代間の交流する場として十分な効果を得ることができた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	西区ふれあいまつりは今年で26回を数え、当日の来場者数や盛況ぶりからも、西区の一大イベントとして、地域住民に浸透していると考えられる。また、ふれあいまつり当日の運営を通じて、区内住民の交流と親睦、連帯意識の醸成の場を提供するといった大きな役割を果たしているため、次年度以降も引き続き実施が求められている。 しかしながら、過去2年間は新型コロナウイルスの影響でまつりを中止していることから、コロナ禍でも開催できるような内容の検討や当日の感染症対策等の配慮が必要である。実行委員や区民の意見、アンケート結果等も踏まえながら、来場者の安全に配慮した上で進めていきたい。				